

2022年4月下旬

一粒書房 新刊のご案内

文芸／小説
ご担当者様

〒475-0837 愛知県半田市有楽町7-148-1
TEL:0569-21-2130
Mail: book@ichiryusha.com

血の晩

四六版・並製本／136頁／定価:990円(本体900円+税)

秋野一之[著]



当該書籍の作品は「人質」以外は全て作者20代のものになります。表題となっている「血の晩」は三人の息子たちによって生ずる、それぞれの苦情、事件によって中年後期の夫婦にのしかかる問題が中心。それが警官殺人、家族殺人に発展する。夫婦も毒薬で最後を迎える。

作品形式は戯曲ふう。作者唯一のこの形式。他の作品になりますが、「'60年のトラ」はコメディふうで、酔っぱらいのテープが語る世間の皮肉が内容。「県境の公園」は盲人の孫と公園で抱く恨みのような感情。「無題」はそのとおりにそれほどの意味をもたない気軽なミニ作品。「房総スケッチ」はルポルタージュで房総半島一周の感想記録。「思いのままに」よりは、のちに「放言帳」へと引き継がれる不定期日記の抜粋。それで様々な思いの記録数編になっている。作者の考えを覗くには良いかも。「人質」は作者50代の作品で、外国勤務の社員が「人質」になり、その心境を語る筋。「欲の河」はアフォリズムふうな形式ながら、それは作者の想する欲の形。「空白」は女性に関する随筆。その中の花卉は作者の略式短文。

以上あらすじになりますが、これらの作品は、秋野一之作品の言わばアラベスクと言えるでしょう。尚、作者には中編小説「美しい惑い」「あゆみ」「銀環に映った恋」があります。

《目次より》

- 血の晩
- '60年の虎
- 県境の公園
- 無題
- 房総スケッチ
- 「思いのままに」より
- 人質
- 欲の河
- 空白

【著者紹介】 秋野 一之(あきの かずゆき)

昭和12年 北海道生れ
昭和35年 中央大学商学部卒
昭和39年 文部省図書館職員養成所卒
昭和41年 東京教育大学特設教員養成部中退
現在、書店と出版自営中

ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数	発行:一粒書房 TEL.0569-21-2130
			秋野 一之[著] 血の晩 四六版・並製本／136頁 定価:990円(本体900円+税)
			冊 ISBN978-4-86743-085-9 C0093 ¥900E

ご注文は JRCへ → FAX.03-3294-2177 ※返品条件付き注文扱い